

令和7年度 旭が丘中学校の教育

1 学校経営方針

- (1) 学校教育活動の核として「**校訓**」を中心に据え、目標の系統性と実践の質を高める。
- (2) **生きる力(知徳体バランスのとれた力)の育成と社会に開かれた学校づくり**
 - 【知】確かな学力を身に付けさせるための、授業・指導方法の改善
 - 【徳】豊かな人間性を育むための、道徳教育の充実と学級・学年・学校集団づくり
 - 【体】健やかな体(健康・体力)を育むための、鍛える場の設定と安全・安心な環境づくり
 - 【教職員】人間性と専門性を高め、生徒・保護者・地域住民に信頼され、慕われ、敬われる先生(チーム旭が丘)

2 学校経営目標(願う学校像と生徒像)

(1) 願う学校像

- ・ 生徒や教職員がいつも生き生きとしている学校づくり・・・「**ええら旭が丘中学校(校区)**」生徒は安心して学習や諸活動に取り組み、自分を高めることができる。また、それを支える教職員も自らを磨き、生徒一人一人を大切にしている。(心理的安全性)
- ・ 保護者や地域に安心感を与えられる学校づくり・・・「**おらが旭が丘中学校(校区)**」学校や生徒の様子が常に地域や保護者に情報発信され、生徒の成長していく姿を共有している。また、「地域とともにある学校」として、生徒・職員・地域人材の相互交流があり、円滑な関係が保たれている。(CS、安心・安全)

(2) 願う生徒像(校訓のイメージと重ねて)

- 【礼儀】**素直で品格がある生徒**。さわやかなあいさつができ、自分を支えてくれる人々に感謝し、その気持ちを行動に表す姿。
- 【勉学】**考え、踏み出す生徒**。毎日の授業や行事、部活動に主体的に粘り強く取り組み、自己に備わった知識や経験を基に、課題解決に向けて自ら判断し、**自ら一步踏み出し**行動する姿。
- 【勤労】**自他に優しく協働力のある生徒**。学校やふるさと、友達や家族を愛する生徒。日々の清掃や身の回りの環境改善に尽力したり、校内外のボランティア活動に積極的に取り組んだりするなど、仲間と協働して場を清める姿。

3 学校経営目標

「自ら学び、共に歩み、未来を拓く生徒」～我がことに問い、しなやかに挑む生徒の育成～

4 具体的な手立て

- ◎生徒の命を守ることを第一に考え、生徒が安全安心に生活できる学校環境をつくるとともに、誰もが安心して可能性を伸ばし、力が発揮できるように努める。
- ◎**校内研修を核とし、授業改善を組織的に進め**、生徒の学力保証と成長保証に努める。授業で味わう自己肯定感や自己有用感を生徒指導につなげる。生徒の「**なぜ**」を大切に**した生徒主体の課題解決的な学習**を通して、「学び」や「学び合い」を実感させ、思考力・判断力・表現力等の育成に努める。(校内研修、GIGA スクール構想対応を軸とする)
- ◎**特別支援教育の視点**に立ち、生徒一人一人の状況を正しく捉え、積極的な生徒指導や心に寄り添った対応に努める。不登校生徒や特別な支援を必要とする生徒への対応として、生徒指導主事・養護教諭・特支コーディネーターを中心として校内の支援体制を強化する。(合理的配慮、発達支持的生徒指導、スクールワイドPBS)
- ◎分掌業務PDCAサイクルを生かして、本校の教育活動の中心となる「4つのステージ」および**旭中文化**「3つの柱と2つの学校自慢」の取組を推進し、校訓や学校教育目標の具現化を図る。(カリキュラムマネジメント)
- ◎「地域とともにある学校(コミュニティ・スクール)」として、家庭や地域との信頼関係を深める。また、推進員を活用して**保護者や地域・外部の教育力**を積極的に取り込む。また、生徒が地域で活躍できるよう、**場の設定**に努める。
- ◎森町および校区一貫研修との整合性を図り、「目指す具体像(出口の姿)」に示したイメージを職員・生徒・保護者・地域および校区保幼小と共有し、**社会に開かれた教育課程の実現**を目指す。
- ◎互いに「**その人らしさ**」を認め合い、力を発揮しながら、学び合い、高まり合う職員集団をつくる。また、職員一人一人が、目指す学校や生徒の姿に向けて**主体的に参画意識**をもち、アイデアや改善策を積極的に出し合い、共有する。